



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義
(コード番号：4585 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之
電 話 0 4 5 - 5 9 5 - 9 8 4 0

設備投資に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 2 月 12 日開催の取締役会において、当社子会社株式会社 UNIGEN 岐阜工場における設備投資について下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 設備投資の目的

当社が開発中の季節性組換えインフルエンザ HA ワクチン（多価）UMN-0502 は、アステラス製薬株式会社が平成 26 年 5 月に厚生労働省にインフルエンザの予防の効能・効果にて製造販売承認申請を行い、現在当局による審査が行われております。一方、平成 28 年 2 月 12 日付で米国にて Protein Sciences Corporation (PSC) が販売している季節性組換えインフルエンザ HA ワクチン Flubluk®の岐阜工場からの原薬供給に関する正式合意を締結しており、平成 29 年度より、岐阜工場における国内必要供給量を上回る生産余力を活用して、PSC が米国で販売している季節性組換えインフルエンザ HA ワクチン Flubluk®原薬の供給開始を予定しております。

現状、岐阜工場は 21,000L の主培養槽 2 基を有しておりますが、PSC との正式合意協議過程において、PSC より示された想定供給量を慎重に検討した結果、供給体制を万全とするためには、遅くとも平成 29 年度には現状の主培養槽を 2 基増設し 4 基体制とすることが必須との判断に至りました。医薬品工場の場合、設備の変更等について当局の審査を経なければならず、追加設備投資には相応の期間が必要となることから、今般、生産能力増強のための設備投資を決議いたしました。

2. 設備投資の概要

(1) 所在地	岐阜県揖斐郡池田町宮地字上粕子 11 株式会社 UNIGEN 岐阜工場
(2) 設備投資の内容	主培養槽及び排水処理設備等の増設
(3) 設備投資予定額	約 2,600 百万円
(4) 稼働開始時期	平成 28 年 12 月を予定しております。なお、稼働開始にあたっては、当局による審査ならびに許可が必要となるため、審査に要する期間により稼働時期が変更となる可能性があります。

3. 今後の見通し

当該設備投資による平成 28 年 12 月期の業績に与える影響はありません。なお、設備投資資金につきましては、自己資金、借入及びリース等を想定しております。

以上